

伝 達 力 と し て

必要であると考え知識や能力	その理由
・チラシ作成能力	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシはどの年齢層にも有効な媒体であり、集客力アップのためには参加したくなるようなチラシが有効的であるため ・情報発信の主力となりえる媒体であり、有効活用を図るためにも知識が必要であるため
・パソコン等のIT活用能力	
・一般の方の関心をよぶ情報の発信方法	・広く周知する必要があるため
・効果的な講座受講生募集について	・ニーズに合った講座を企画しても、対象者にその情報が伝わらなければ意味がないため
・「伝える」のポイントを学ぶ	・コミュニケーションを円滑に進めるために最も必要な能力であるため
・コミュニケーション能力	・広報紙だけではなかなか人が集まらないので、口コミの力も重要であるため
・ブログやホームページ作成，SNSの活用法	・紙ベースの広報には費用が必要な上、若い世代にはなかなか届かない。インターネットを上手に活用して伝達する必要があるため
・事業等の発信方法について必要な情報が必要な人に届くようする手段	・変化の激しい社会において公民館として求められる活動・取組を行うため
・事業を組織的にすすめるために、他の担当との連携を図る力	・無駄な動きや不足をなくするため
・相手（対象者）の立場に立った考え方	・自分がわかっていることを相手にわかりやすく伝えるため
・伝達力はより理解を得やすい企画書を作成する能力、さらにその企画をわかりやすく説明する能力。またこれには一方的に自分の伝えたい事項を述べるのではなく、相手から聞きたいという気持ちを引き出すことが肝要である。	・業務を円滑に実施するためには、自分の考えや組織の方針、事業内容などをわかりやすく説明し、理解を得ることが重要であるため

・伝達力としては、チラシやコミュニケーションなどの手段が挙げられていた。チラシはどの世代にも有効であると考え、参加したくなるような紙面の工夫が必要であると考えている。また、口コミの力も重要であると考え、コミュニケーションによる伝達も依然必要であると思われる。他にも、若い世代にも知らせたいときには、SNSを活用した伝達も重要であるという意見があった。

ファシリテート力として

必要であるとする知識や能力	その理由
・先を見据えた進行管理や各種意見をうまく反映できるようなスキル	・講座の目的を達成させるためには、進行管理が重要な要素の一つであるため
・ファシリテートのコツやメソッドについての講義を聞きたい	・企画会議や地区住民との連絡会議などを行うことも多く、建設的でない意見が出されたときもまとめ方に苦労することが多いため
・ファシリテーターの役割を十分理解し、多くの人の意見を引き出し、まとめ講座に活かす力	・受講生のニーズ、時世に合った講座を開催するため
・ファシリテート力の基本的な考え方事例やミニワーク	・基本から学び、事例等を通して実際の業務へどのように繋がっていけるかを知っていく必要があるため
・相手の意見を取り入れながら効率的に時間内に目標を達成する能力	・時間が決められている中で時間配分が難しいため
・実践をとおしての体験	・頭でわかっている、実際に行ってみると難しさや弱点もわかるため
・場をつくり、つなげ意見を引き出し、整理しまとめるといった基本的ファシリテーション力の向上	・公民館活動は民主導が基本であり、住民の自主性を尊重した活動が展開される必要があるため
・ファシリテーターとしての役割を学ぶ	・市民参加型の講座・討論会等の企画も行えるようになるため

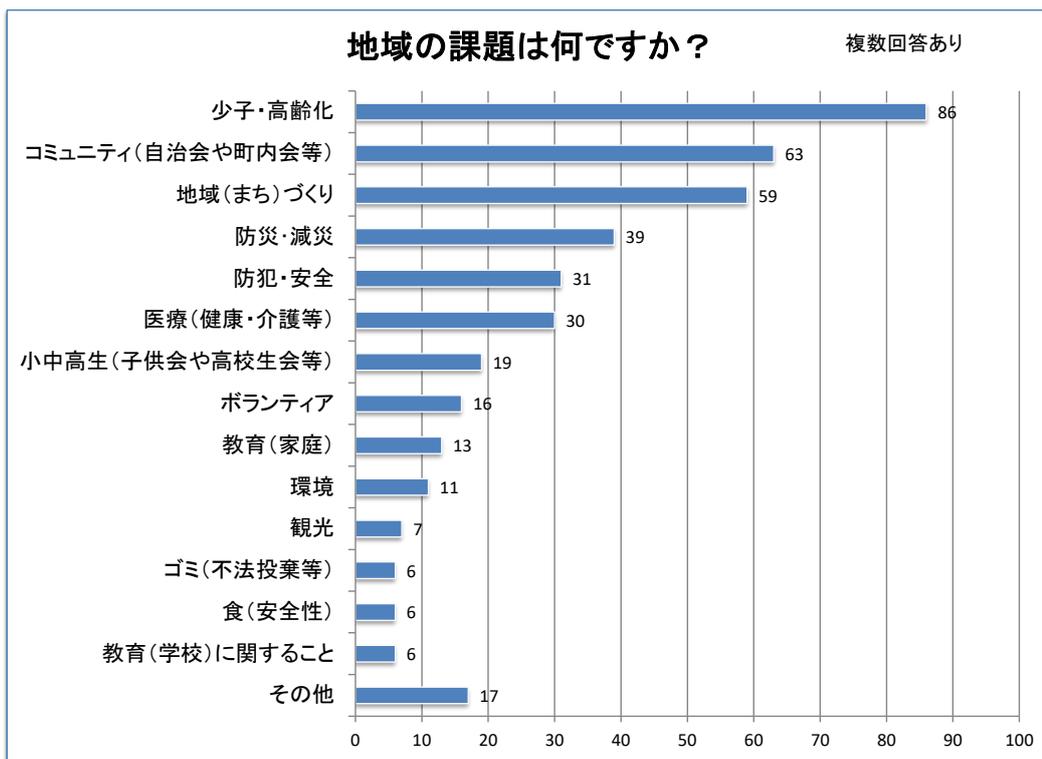
・ファシリテート力については、まだ身につけていないと考えていて、事例研修やスキルをつけるための研修に参加することで、基本的なファシリテート力の向上を図り、実践をとおして身に付けていくが必要であるという意見が多かった。4つの質問項目の内、回答率が一番低いことから、ファシリテートという用語も合わせて浸透していくことを考える必要があろうと思われる。

そ の 他

・予算の確保	・予算削減となる自治体が増えていることから、事業予算の確保が必要となるため
・新しい講座を開講する基準、受講申込の公平性	
・予算的に新規事業を立ち上げるのは難しい	・マンネリ化した講座が多く、今後は魅力ある内容にしたい

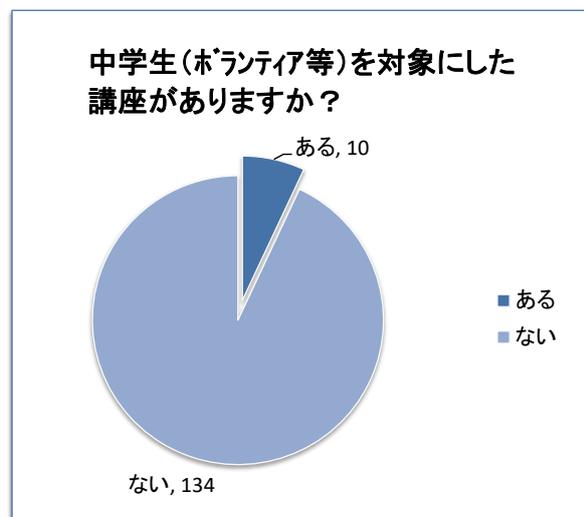
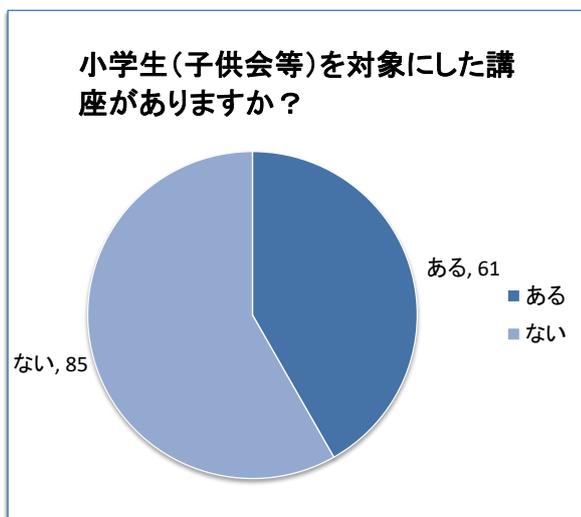
2 地域課題に対応するための支援プログラム開発と普及について

Q1 地域の課題は何ですか？



地域の課題については、「少子・高齢化」が86施設(59%)、「コミュニティ(自治会や町内会等)」が63施設(43%)と上位を占めた。続いて「防災・減災」、「防犯・安全」が高かった。今年度のプログラムでは、「少子・高齢化」について取り組んでおり、本プログラムの開発が期待されるところである。

Q2 小学生(子供会等)を対象にした講座がありますか？ Q3 中学生(ボランティア等)を対象にした講座がありますか？

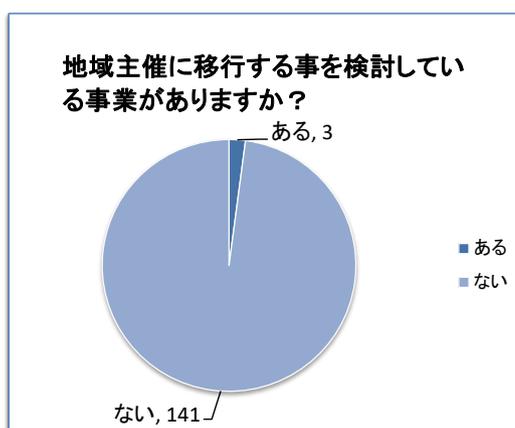
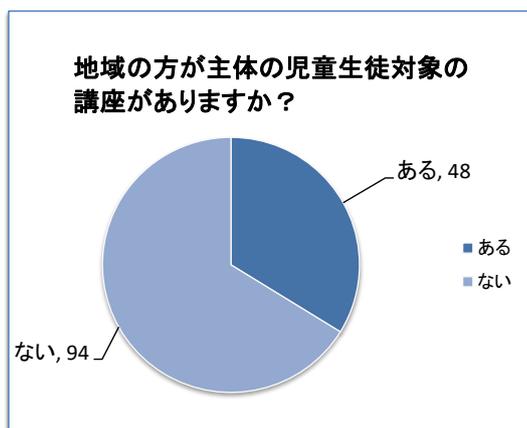


小学生対象講座の実施は、全体の61施設(42%)で実施されている。

中学生(ボランティア)を対象とした講座の実施は、10施設(7%)にとどまった。

Q4 地域の方が主体者となって実施する児童生徒対象の講座・イベント等がありますか？

Q5 地域主催の事業に移行することを検討している事業がありますか？

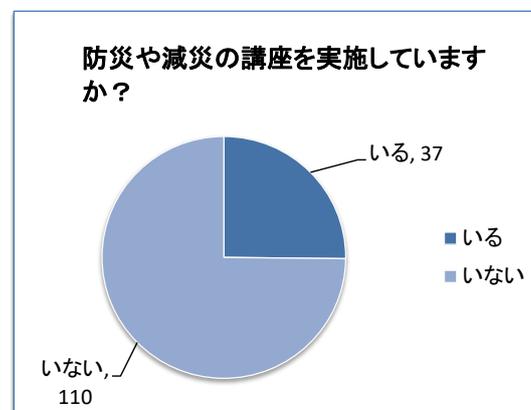
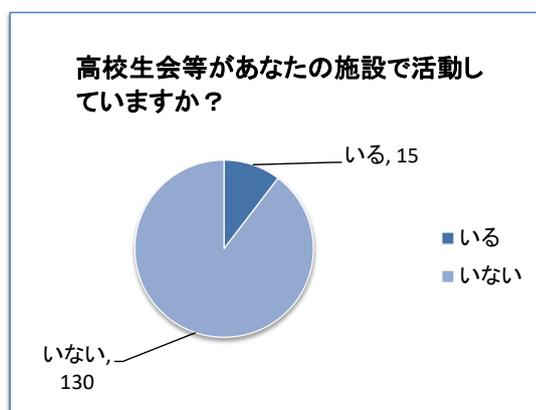


地域の方が主体者となって実施するイベントは48施設(34%)あった。

地域主体の事業に移行することを検討している事業は、3施設(2%)だけであった。

<次年度のプログラムに向けて>

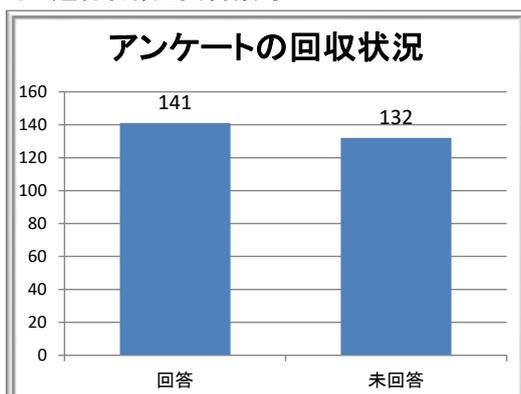
Q6 高校生会等があなたの施設において活動していますか？ Q7 防災や減災に関する講座を、実施していますか？



高校生会等の活動については、15施設(10%)にとどまっている。

防災や減災に関する講座の実施は、37施設(25%)で実施されていた。

○ 送付総数と回答数等



2-Q4 あなたの施設で、地域の方(貴管轄内の行政以外の団体)が主体者(講師, 助言者, ボランティアスタッフを指します)となって実施する児童・生徒対象の講座・イベント等(祭り等を含む)がありますか。
(ただし、学校の教育活動で行われているものは除きます。)

〈祭り等〉

- ・地域のお祭りを実施 ・ふれあい祭り・文化祭(小中学生地域一体となった活動)
- ・地域住民のための運動会・体育祭を実施
- ・五所音頭大会(盆踊り)地区全体小中学生に歌い手を依頼
- ・公民館まつり(年1回)小学校の子どもたちを含め、バザー等を行っている。

〈季節・伝統の行事・イベント等〉

- ・地域の和太鼓の指導者のもと練習し、発表会を行っている。
- ・お囃子, 笛, 太鼓, 御船引き(5年に1回) ・小学1, 2年生に昔遊びを教える
- ・豊郷まつりで発表する。伝統工芸である祭頭囃子を指導する
- ・施設の清掃, 修理等, クリスマス会等 ・新入生歓迎会, クリスマス会, 6年生を送る会
- ・もちつき大会, 子ども会のお正月の催しと連携してもちつき大会を実施
- ・凧上げ大会 ・カルタ大会 ・オセロで触れあい交流会
- ・映画上映会などを主催・開催している。
- ・公民館関係者50名程で児童に昔遊び・そば打ち・餅つき等を実体験してもらう講師となる。
- ・小学校と連携した小学生高学年を対象とした1泊宿泊体験教室
- ・リトルファームでの収穫物をもとに収穫祭を実施

〈子どもの居場所に関する事業〉

- ・コミュニティ型児童クラブ(月～金曜日, 放課後, 保護者が仕事のため留守家庭の児童を預かる)
- ・放課後子ども教室(市からの委託事業)
週1回(水曜日)放課後の児童を受け入れ, 学習, 読み聞かせ, ニュースポーツ, 季節の行事などを楽しむ
- ・子育て広場
- ・子どもの遊び場事業
- ・子どもの居場所づくり事業, 砂の造形大会, 夏まつり, ひらいまつり, 地区住民体育祭, 地区防災訓練

〈マラソン・ウォーキング等〉

- ・駅伝大会(子ども会, 自治会で地域内の1チーム10人の駅伝大会)
- ・市内の湖沼の周りをウォーキング
- ・地域のマラソン大会

〈長期休業中の行事等〉

- ・夏休み子ども体験講座
- ・7月夏休みに学校内・地域の探検や買い物等を体験させる
- ・ミニ子どもまつり(ゲームや軽スポーツなど) 春, 夏休みの平日開催
- ・年2回。夏はバスで学区外に行き, 冬は屋内でゲームをしたりして, 楽しい1日を過ごす
- ・夏休み期間中に「学校で遊ぼう」と題して, ゲーム, おもちゃ遊び, プール遊び, 流しそーめんを食べたりして楽しむ。
- ・宿泊学習体験(小学校の夏休みに入って第1の土・日曜日にグラウンドにテントを張って宿泊体験を実施)
- ・町内の小学生対象としたサマーキャンプの事前や事後の研修
- ・夏休み親子移動教室(児童対象に上野科学博物館・大宮鉄道博物館の見学)
- ・夏休み理科教室(日立理科クラブの協力を得て, 理科工作を実施)
- ・親子料理教室(夏休み)

〈講座・教室等〉

- ・年間を通して環境問題を中心に体験活動を行う
- ・季節の食材を使った料理講習
- ・オリジナルケーキ作り
- ・ちびっこダンスワークショップ(対象市内小学校児童)
- ・子どもガラスアート教室
- ・子ども習字教室
- ・毎月1, 3日曜の午前中に中学生向けに英語読解講座を実施している。
- ・市に在住する小中学生や青年に対する日本語学習
- ・保育園児を対象に陶芸作品づくりを行っている
- ・読み聞かせ団体による絵本などの読み聞かせの会を開いている

〈その他〉

- ・高齢者団体向けものづくり(不定期的 学校夏休みが主体 小中学生)

2-Q5 現在, あなたの施設や教育委員会・首長部局主催の事業で, 今後, 地域(貴管轄内の行政以外の団体)主催の事業に移行することを検討している事業がありますか。

	移行前	移行後	主な内容
行政 → 地域	市民生活部生涯学習課	各地区コミュニティセンター	生涯学習講座
行政 → 指定管理	公民館(行政管理者)	交流センター(指定管理者)	公民館事業を指定管理により実施している
担当課の変更	フロンティアアドベンチャー	サマーキャンプ	町内の小学生を対象としたキャンプ事業

考察

○アンケートより, 祭りや伝統行事, 季節の行事や夏休みに合わせたイベントなど, それぞれの地域や施設等で地域の特性を生かしながら様々な活動に取り組んでいることがわかった。アンケートで頂いた, それぞれの地域や施設でのイベントや行事等の具体例を参考にして, 今後のプログラム開発・普及に取り組んでいきたい。

平成30年度 調査研究, 学習プログラム開発・普及事業
報 告 書

平成31年3月発行

編集・発行 公益財団法人茨城県教育財団
茨城県水戸生涯学習センター

〒310-0011

茨城県水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎3階

TEL 029-228-1313

Fax 029-228-1633